

愛嬌たっぷりの動物に沸くのもいいが、動物の害にもそろそろ目を向けなさいと…

レッサーパンダの風太を皮切りに、「立ち上がる動物」が話題となっている。レッサーパンダの立ち上がりは全国各地でどんどん報告され、テレビには立ち上がるイノシシやイヌまでが登場するようになった。京都市動物園にもレッサーパンダがいて、最近は動員数も増えているようだ。さて、このように愛嬌たっぷりの動物に沸くのは微笑ましいのだが、今、京都ではある動物が不穏な動きを見せている。それはカラス。最近のカラスの増え方は異常だ。ゴミ回収日にもなると、いたる所にカラスが飛び交い、バッサバッサと奇怪な羽音を響かせている。関東の都市部ではすでにカラス防止に黄色のネットなどを使ってゴミを保護しているところが増えているが、京都市ではまだ深刻な問題として取り上げられていない。しかし、カラスの知能は計り知れない。そのうちに人を襲い始めたりする可能性も考えられる。駆除が難しくなってからでは遅すぎる。行政には早めの対応をお願いしたい。

謎の金属片
ガードレールに付着の金属片を見て
まさきにイタズラと考える荒んだ時代

他人の安全を守るのは
(ヒーローである前に)
運転手の義務!!



いや…
私ではな…

他府県で通学途中の中学生がケガをしたことをきっかけに、鋭利な金属片が付着したガードレールが全国で2万5000カ所近くも見つかった。京都でも市内に50個、府内では約800カ所で金属片が見つかった。調査の結果、ガードレールに接触した車の破片であるという見方がほぼ固まったが、当初は悪質なイタズラ説、果ては宗教団体犯行説まで浮上した。京都府警は今後、パトロールで金属片を発見した際、現場の状況を確認後に撤去するという。誰かがケガするなどの被害が報告されれば、傷害事件として捜査する方針も発表した。それにしてもガードレールに車をぶつけてきたものであれば、誰かが報告したっていいんじゃないだろうか? この金属片、あまりにも数が多いため、人為的なものとして考えるには端から無理があったが、置き石や置き自転車など悪質なイタズラでは? と勘ぐってしまうことが恐ろしい。

「立ち上がる重加物」「座り込むニート」

深刻なのは
どっち!?



3027年住みよさランキング
第1位は「地下都市No.4444」に決定

参考 2位「地下都市No.2461」 3位「No.0228」



住めば都

「住みよい滋賀」「住みにくい京都」
評価にばらつきがある住みよさ番付

京都の隣県、滋賀県栗東市が「05年住みよさランキング」で1位となった。これは東洋経済新報社が全国の市を対象に「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」の5項目を軸に、長生きができるか、子供が多く産めるか、職住が近接しているか、マイホームが購入しやすいか、人を引きつける魅力がある都市か、などを指数で表したものだ。同県長浜市も3位にランクインしており、どちらも「程よい規模で、都市機能が程よく充実している都市」という評価を得たことになる。一方、京都は福知山市のみが76位でかろうじて100位以内にランクインしているのみで、京都市の入浴観光客数が4年連続で過去最高を記録、経済効果は1兆円強というのに、住みやすさの評価はなぜか低い。ただし、北九州都市協会の住みよさ調査は京都市が4位。これは「自然」「都市イメージ」も調査項目に入っているからと考えられる。筆者は京都市は住みよい都市だと思っているし、住みやすさに対して客観評価は必要ないと思うのだが、これからの住居購入の際などには参考になるかもしれない。



文◎大塚 祐希

京都で活動するライター集団・大塚祐希事務所CEO。昨年のイスラエル滞在以来、異文化を紹介するTEXTREAM PROJECTを始動。20カ国に及ぶ人々とネットワークを構築し、ボーダレスな活躍を目指す。
HP●<http://www.1.ocn.ne.jp/~tsukapon/>



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フラダンス、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP●<http://www.d1.dion.ne.jp/~ryoguchi>